

若手りんご生産者グループ

3年間の軌跡



THE RINGO STAR
JA IWATE HANAMAKI

果樹生産を
明るく照らす
未来への布石

若手生産者とJAのりんご担当職員との何気ない会話の中から生まれた「若手りんご生産者グループ」。結成から3年、その活動と熱き思いは勢いを増す。
今回の特集では、THE RINGO STARの発展し続ける3年間の軌跡を追う。

足跡

若き情熱が切り拓く
未来へ続く道

平成25年

りんご栽培に携わる若者の集い

若手りんご生産者グループ設営に向けた一歩



平成26年

現地指導会(82回) 各種講習会(11回)



3月

果樹部会若手りんご生産者グループ設立

7月

青森県での先進地研修

9月

紅いわて品質調査

紅いわて販売促進会・求評会

保育園児に紅いわてプレゼント

紅いわての生態を探り、品質の安定と栽培技術のレベルアップを！一大産地を目指す

10月

台湾秋季定期チャーター便歓迎セミナーで紅いわてPR

11月

目的限定りんご品種試食会



10月~11月

いわて純情りんごコンテスト出品

平成27年

現地指導会(80回) 各種講習会(8回)

5月

岩手県知事と県内りんご若手・女性生産者との懇談会

6月

関西方面へ販売流通研修会 会員園地巡視会



7月

紅いわて品質調査

9月

保育園児との紅いわて収穫体験 紅いわて販売促進会・求評会



THE RINGO STAR 紅いわてPR活動

りんごの季節の始まりを告げる 紅色の果実「紅いわて」 県内一の産地構築へ

紅いわては、岩手県のオリジナル品種で、早生種と中生種出荷の合間を埋めるリレー品種として誕生し、当JAが県内一の栽培面積と生産量を誇る。



デビューは平成23年で、まだ歴史は浅く、栽培技術や品種改良が確立されていないのもまた事実である。

そんな中、りんごの季節の始まりを告げるともいえる「紅いわて」でスタートダッシュを盛り上げ、産地に勢いを！と、立ち上がったのが彼らだった。新しい風が吹いた瞬間だ。

品種特性を探るため、JAや農業改良普及センターと共に毎年調査を行い、栽培技術の向上や品質の安定を図るべく、データを収集している。また、県内でも先頭を切って販売促進やPR活動を展開。県内外はもちろん、地元にもそのおいしさを伝える。

もちろん、この時期は本業である生産活動が忙しくてしょうがない時だ。でも彼らは宣伝活動を怠らない。全ては、誇り高きこの産地を「発信」するために――。

未来の日本では、食卓に紅いわてが並び、「ザ・リンゴ・スター」というカッコいい農家の人たちがね、紅いわてをこんなにおいしく作って、日本中にその名を広めたんだって。なんていう会話をしながら、笑顔でりんごを頬張る姿が見られるかもしれない。

1.県内外での販売促進やPR活動。紅いわての普及拡大は彼ら無しでは語れない 2.JA広報誌の表紙を飾り管内の農業者たちに頼もしき若きパワーを発信 3.花巻空港の台湾秋季定期チャーター便歓迎セミナーで、そのおいしさを観光客にアピール 4.深みのある紅色と甘味の強さが特長で消費者からの支持も高まっている「紅いわて」 5.親しみを持ってもらうため、店頭やイベントでPRする時はりんごの被り物を 6.いわて国体のメイン会場では、全国各地から訪れた選手団や観客に魅力を伝えながら販売 7.特性を探る品種調査

